

2つのサイコロ 編

ポイント 2つのサイコロのとき、確率の分母は
12 じゃなくて、**36** を使う

(例題) 大小2つのサイコロを同時に投げてみた。
次の確率を求めよう。

(1) 出る目の数の和が4になる確率は？

+

サイコロのそれぞれ、足して4になる組み合わせを書きだしてみる。

① - 3 .
② - 2 .
③ - 1 .
④ - X
⑤ - X
⑥ - X

$$\frac{3}{36} = \frac{1}{12}$$

(2) 出る目の数の差が4になる確率は？

-

サイコロのそれぞれ、引いて4になる組み合わせを書きだしてみる。

5 - ① . - ④
6 - ② . ⑤ - 1 .
 - ③ × ⑥ - 2 .

$$\frac{4}{36} = \frac{1}{9}$$

(3) 出る目の差が4にならない確率は？

Aの起こる確率 = 出る目の差が4になる
(2)より $\frac{1}{9}$ とわかった。

$1 - (Aの起こる確率)$

$$1 - \frac{1}{9} = \frac{8}{9}$$